



## 韓国の次世代伝統音楽グループ「積感」 駐日韓国文化院で韓国伝統音楽と現代音楽の融合舞台を披露

駐日韓国文化院では、韓国伝統音楽を基盤に様々なジャンルに挑戦する次世代アーティスト「積感 (JeokGam)」の公演を4月8日(水)に韓国文化院ハンマダンホールにて開催します。「積感 (JeokGam)」は同時代を生きる若手アーティストの芸術的感性を通じて、現代韓国人の血に流れる「オル(魂)」を呼び起こすことを目的に2022年に結成された複合芸術型伝統音楽グループです。

キム・スンホ(カヤグム)、ユ・ソクジュ(打楽)、キム・ウィジン(唱)、キム・ジュンピョ(キーボード)の4人で構成され、ジャンル横断的な芸術活動を追求しています。

本公演は二部構成で行われ、第1部では韓国の民俗音楽を中心としたカヤグム演奏とパンソリの舞台を、第2部では韓国伝統音楽を現代風にアレンジした創作曲と日本の曲も1曲披露します。

つきましては、本イベントの周知にご協力をお願いします。写真資料、出演者の詳しいプロフィールなどのご依頼、ご取材のお申込については、韓国文化院までご連絡ください。

★マスコミの方々でご観賞をご希望の方にはお席をご用意いたしますので、  
メール 《 [pr@koreanculture.jp](mailto:pr@koreanculture.jp) 》までご一報ください。



### 【イベント概要】

- 行事名：韓国伝統音楽と現代音楽の融合「積感 (JeokGam)」
- 日時：2026年4月8日(水) 19:00開演 (18:30開場)
- 会場：駐日韓国文化院 2F ハンマダンホール(東京都新宿区四谷 4-4-10)
- アクセス：東京メトロ丸ノ内線「四谷三丁目駅」1番出口より徒歩5分
- 主催：駐日韓国大使館 韓国文化院
- ★本イベントは事前申込制(無料招待)です。(申込受付は終了)

【お問合せ】 駐日韓国大使館 韓国文化院 ☎03-3357-5970 [www.koreanculture.jp](http://www.koreanculture.jp)

イベント担当 朴志勲 (パク・ジフン) ☎03-3357-5975 ✉ [stage@koreanculture.jp](mailto:stage@koreanculture.jp)

広報担当 趙恩京 (ジョ・ウンギョン) ☎03-3357-5972 ✉ [pr@koreanculture.jp](mailto:pr@koreanculture.jp)

## 【出演】

### 積感 (JeokGam)

「積み重ねる」の『積』と、「感情」の『感』を組み合わせた言葉で、感情を積み重ねる複合芸術型伝統音楽グループです。2022年、同時代を生きる若手アーティストの芸術的感性を通じて、現代韓国人の血に流れる「オル（魂）」を呼び起こすため結成されました。

韓国伝統芸術に根ざした企画・制作・実演から、韓国伝統音楽・電子音楽・視覚芸術・演劇など、ジャンルの枠を越えて五感を統合させるジャンル横断的な芸術活動を追求しています。

2025 伝統公演芸術振興財団 「今日：響き」 キャンペーン映像 出演

2025 光州市文化財団 文化芸術支援事業 GAJA 採択

複合芸術 展示・パフォーマンス 「共鳴：恨」

2024、2025 「国楽で食べていくコンサート」

			
キム・スンホ	ユ・ソクジュ	キム・ウィジン	キム・ジュンピョ

## 【プログラム】

### 第1部：民俗音楽を中心とするカヤグム演奏とパンソリの舞台

※パンソリは一人の歌い手が鼓手の太鼓伴奏に合わせ長い物語を歌う韓国の伝統芸能

#### 1. カヤグム散調／12弦カヤグム：キム・スンホ、チャンゴ：ユ・ソクジュ

散調は多様なリズムと旋律で構成された民俗器楽独奏曲です。序奏からクライマックスの速いリズムまで多彩な演奏を味わうことができます。

#### 2. カヤグム弾き語り／併唱：キム・ウィジン、チャンゴ：ユ・ソクジュ

カヤグム演奏に合わせて歌う様式で、パンソリ「水宮歌」から「孤苦千辺（コゴチョンビョン）」の一節を歌います。竜王の忠臣であるスッポンがウサギの肝を求めて初めて海の外へ出る内容を描いています。

#### 3. 25弦創作曲「恨五百年（ハノベンニョン）」／カヤグム：キム・スンホ

江原道の民謡を題材に創作された25弦カヤグムのための楽曲です。江原道地域特有の旋律と、淡々と人生の恨（ハン）を解きほぐす感性が表れています。

#### 4. 短歌「廣大歌（クアンデガ）」、パンソリ「春香歌」／唱：キム・ウィジン、チャンゴ：ユ・ソクジュ

パンソリを始める前に声を整え、場を開くために歌う「短歌」で、芸人の4つの徳目を歌う「廣大歌」と、伝統パンソリの中で最も広く愛されている「春香歌」から、李夢龍が春香を初めて見て恋に落ちる場面を歌います。

### 第2部：「積感」が韓国伝統音楽を現代風アレンジした創作曲の舞台

#### 5. 京畿民謡メドレー／カヤグム：キム・スンホ、打楽：ユ・ソクジュ、キーボード：キム・ジュンピョ ※編曲：Orange Tree

京畿民謡の「太平歌」と「青春歌」を中心に、京畿地域特有の伝統的な旋律を応用した器楽曲で構成しました。伝統的なリズムと旋律を奏でるカヤグムと打楽器に、ジャズと実用音楽を加味したキーボードの旋律が調和し、現代的な雰囲気醸し出します。

#### 6. 「共鳴:恨（ハン）」／カヤグム：キム・スンホ、打楽：ユ・ソクジュ ※作曲：積感

2025光州市文化財団 GAJA創作芸術活動支援部門選定作で、同名の複合芸術展示・パフォーマンスからスタートしたサウンドプロジェクトです。伝統楽器のライブパフォーマンスを基に、展示の情緒とサウンド構造を再構成しました。

#### 7. 「K-flip」／カヤグム：キム・スンホ、打楽：ユ・ソクジュ、キーボード：キム・ジュンピョ ※作曲：積感

エフェクターを基にした電子音響技法を活用し、伝統サウンドを現代感覚で表現する「積感」のアイデンティティを含めた「電子韓国伝統音楽」のタイトル曲です。

#### 8. 「Be:LIFE」／唱：キム・ウィジン、カヤグム：キム・スンホ、打楽：ユ・ソクジュ、キーボード：キム・ジュンピョ ※作曲：積感

韓国伝統儀式「告祀（コサ）」の新たな解釈とテクノとの結合を通じ、カヤグムと太鼓の多彩な音色と物質がエレクトロニックサウンドに変わる境界を探求した曲です。